

Rotary



The Hitoyoshi Rotary

人吉ロータリークラブ

通 算 3 2 4 0

2025年5月9日

第34回例会

The Magic of Rotary

ロータリーのマジック

2024～2025年度 R I 会長

ステファニー A アーチック

人吉市九日町30・清流山水花 あゆの里 ☎ 2171

例会場

事務局

清流山水花 あゆの里内 ☎ 6665 ☎ 6505

人吉ロータリークラブ
ホームページ

f フェイスブックページ

[E-mail]

hitoyoshi-rc@mocha.ocn.ne.jp

2024～2025年度 人吉ロータリークラブテーマ

もっと、ロータリーを楽しもう

本日の例会

国歌斉唱・Rソング斉唱

会長の時間

幹事報告

出席率報告、会務報告、ゴルフ表彰、結婚誕生祝い

R財団認証ピンの贈呈、RLIパートⅢ受講修了証授与

Rの友紹介

2025-2026年度地区研修・協議会報告（後半）

寄付カード

点 鐘

岩井和彦 会長

歌 唱

ソングリーダー 米田幸司 委員

国 歌	「君が代」
R S	「奉仕の理想」

司会・進行

プログラム 小笠原賢治 委員

会長の時間

会長 岩井和彦



皆さん、ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたか？

私は前半・後半ともに4連休の変則的なお休みでしたが、中には11連休を楽しまれた方もいらっしゃるのではないかと思います。

私の連休前半は、ロータリーの地区大会に参加したり、ゴルフをしたり、少し仕事をしたりと、かなり予定が詰まっていました。後半は、初日にまたゴルフを楽しみ、2日目には福岡方面へ出かけました。3日目と4日目は体のケアにあてて、午前中は録りためたビデオを見てゆっくり過ごし、午後は温泉でリフレッシュするなど、充実した連休を過ごすことができました。

福岡には、福岡から来た友人と一緒にいくことになりました。彼がゴルフをしに一泊でこちらに来ていたので、帰りに彼の車に乗せてもらい、福岡方面へ行きました。帰りは新幹線を使う予定だったので、自分の車を新八代駅まで運転して行き、駐車場に停めようとしたのですが、どこも満車で「これはやばいなー」と思っていたところ、なんと駅に一番近い駐車場がちょうど空いていて、無事に停めることができました。その時、友人に「お前、ついてるな～」と言われました。というのも、私が駐車した直後にその駐車場が満車になり、4～5台の車が次々と来ていたそうなんです。運が良かったと本当にホッとしました。実は2年ほど前にも同じような状況で駐車できず、30分ほど駐車場を探し回ったあげく、結局そのまま車で福岡まで行ったことを思い出しました。ちなみに、JRの駐車場は事前に予約できるそうです。今後利用される方は、ぜひ予約を入れて、余裕をもってお出かけください。

今回は八代から鳥栖までの移動でしたが、通常なら1時間半で行けるところを、渋滞に巻き込まれて3時間以上かかってしまいましたが、その分帰りは新幹線で安心してゆっくりと過ごすことができ、結果的に満足いく連休となりました。

さて、ゴールデンウィーク前には地区大会が開催され、多くの会員の皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。途中退席されることもなく最後まで残っていただきましたので、終盤の参加クラブ紹介の時は、他のクラブから「おお」というざわめきが起るほど注目を集め、我がクラブを誇らしく思った瞬間でした。最後まで席を立たず点鐘を聞くのが真のロータリアンだそうです。我がクラブのメンバーは真のロータリアンの集まりであることを確信した大会でした。大会の詳細については、後日出席者の方から報告していただくことになりますので、ここでは簡単に触れるにとどめます。

その中で特に印象的だったのは、記念講演を行ってくださった千 玄室さんです。102歳というご高齢にもかかわらず、杖を使うことなく壇上に進まれ、45分の持ち時間をきっちりと講演された姿には大変驚かされ

ました。さらに、最高齢出席者として登壇された105歳の会員の方も、杖に頼りつつもご自身の足で壇上に登場され、ロータリアンの意思の凄さを感じることができました。

大会前日は、ガバナー補佐・会長・幹事会議、指導者育成セミナーが開かれましたので、少しその話をさせていただきます。

会議が始まる前、受付で地区大会信任状の提出を求められたのですが、何のことか分からず「持っていません」と言うと、知り合いから「信任状は幹事が持ってくるんでしょう」と言われ、「はい」と返事して部屋に入りました。多良木・芦北の会長・幹事の隣に座りその話をしたところ、多良木の会長には笑われ、芦北の幹事さんからは「うちだけじゃなくて良かった」と言われ恥ずかしいやらホッとするやら複雑な気持ちになっていたところに伊久美幹事が来られて「出しましたよ」の言葉に一安心した会の冒頭でした。後日、事務局にある信任状の控えを受け取ると私のサインがしっかりと記されており、知らないと言ってしまったことを恥ずかしく思っています。次年度・次々年度の会長さんは、サインをする際は内容をしっかり把握してサインしてください。

会議の終了後には、コロナ禍で毎日のようにテレビで目にしていた尾身茂氏の講演があり、たいへん貴重なお話を伺うことができました。年齢を重ねる中で大腿骨骨折により歩行が困難となり、そのストレスから免疫が低下し、白血球による結核菌の抑制が効かなくなるという話をされました。これには納得する部分が多くありました。

また、尾身氏はポリオ根絶活動に初期の段階から深く関わっておられ、ロータリーが世界で初めて1979年に国際ロータリーとフィリピン保健省の間で交わした合意書に基づき、1億5千万円を提供したことがポリオ根絶における第一歩となったことを紹介されました。日本もその後、細川内閣時代に7億5千万円を拠出したそうです。尾身氏は、「ロータリーの貢献は非常に評価されるべきだが、もし今やめてしまうと、すべての手柄がビル・ゲイツに持っていかれてしまうので最後までやり抜きましょう」と締められました。

夜は、盛大な希望交流会に参加した後、葉山委員長から「ゴルフ組と人吉ナイトで盛り上がっているのです、2次会から合流しませんか」とお誘いを受けました。2次会場ではゴルフ組が盛り上がり、私の隣は葉山委員長が会長を務める職域の方が2名座られ、なぜか最初から店を出るまでずっと政治の話でした。以上、地区大会前日の報告として会長の時間を終わります。

幹事報告

幹事 伊久美早利

○RYLA（青少年指導者養成プログラム）セミナーの受講生推薦の依頼

- ・日時：5月23日（金）～25日（日）
- ・場所：天草市御所浦交流センター
- ・再度、受講生推薦の依頼がきています。20～30歳

程度の若手社員、ご子息など青少年の育成のため対象の人がいましたら推薦をお願いします。

○第3回ローアクト会長幹事会の案内

- ・日時：6月21日（土）10時～12時
- ・場所：熊本市国際交流会館5階大広間A
- ・第40回地区ローターアクト研修会（6/21 午後～）の前段に実施

○今後の例会について

- ・5/16 青少年奉仕月間卓話
- ・5/23 クラブ創立記念例会
- ・5/30 職場訪問例会

出席率報告

委員長 吉野孝司

現 会 員 数	52名	出席免除会員数	0名
出席義務会員数	52名	本日の出席率 65.38%	
欠 席 者 数	18名		
出 席 者 数	34名		
免除会員出席数	0名		

会務報告

【ゴルフ愛好会】

運営委員会 水野虎彦

○岩井会長杯 第10戦

4月12日（土）熊本クラウンゴルフ倶楽部

優勝 岩井和彦 会長

ワンオンチャレンジは2,300円でした。

○第11戦のご案内

5月25日（日）9:27スタート

球磨カントリー倶楽部

反省会は「エビス」にて18:30より会費5千円

【親睦委員会】

5月結婚祝い

井手富浩会員 3日	渡辺洋文会員 6日
岡啓嗣郎会員 15日	中川貴夫会員 18日

5月誕生祝い

平田フク会員 9日	小笠原賢治会員 15日
吉沢雅人会員 30日	田口善浩会員 31日

【R財団寄付】

第5回マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

認証ピン贈呈

中川貴夫会員



【RLI】

パートⅢ受講終了証授与

塚本哲也会員 伊久美早利会員 北昌二郎会員



【雑誌委員会】

ロータリーの友5月号紹介

大山善生会員

皆様こんにちは。初めてご紹介をさせていただきますので的を得ないところがあるかと存じますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

今月は、青少年奉仕月間ということでRI会長のステファニーA. アーチック氏のメッセージもブラジルのペナポリス・ロータクトクラブのヴィトール・ヘボンティノさんに託されています。横書き5ページ目になりますが、ここにはロータリー青少年指導者育成プログラム（RYLA）に参加された時のことを寄稿されています。6行目からですが、床に広げた大きなシートの上に立ったまま、誰も下りることなくシートを半分に折る方法を見つけるという課題でした。どれくらいのサイズで何人ぐらいの人が上に載ってチャレンジしたかは記載がございませんが、車いすを使うチームメイトもいた事が記載されています。チャレンジは簡単そうに思えたが、作戦を立て調整していくうちに、実はチームワークと機敏性、そして絶えずコミュニケーションが求められる課題だったとあります。そして、だれ一人取り残さないことを決めて全員一緒に課題を達成した。参加者の一人が、「社会も同じ。課題が生じても誰かを置き去りにするのではなく、みんなが参加できる方法を見つけることが大切」とこの体験の神髄を捉えた言葉を口にしたそうです。LYLAを成功に導くのは、可能性を信じてくれるロータリー会員が必要で、支援のお願いと御礼で締めくくってあります。

横書き7ページから11ページには、東京八王子RCの事業が紹介されています。ここには、日本でのスマートフォンの普及は進むものの、若者世代のパソコンやタブレットの所有率が低下し、子どもの5割が学校以外でパソコンを使用しない状況で、AIが経済成長をけん引するデジタル時代において、世界に大きく後れを取る可能性を感じ、本事業を開催されています。2020年から小学校ではプログラミング教室が必修となっており、八王子教育委員会から協力の依頼を受けたことで、年度またぎや予算などクラブの課題はあったようですが、対象を中学生以下としプログラミングコンテストを開催されたそうです。2021年に第1回、翌2022年に第2回、第3回目の開催に先立ち八王子市や八王子商工会議所の協力を仰ぎ実施組織の法人化、「一般社団法人 八王子デジタル教育支援協議会」を発足して飛躍した第3回大会を開催されています。掲載されている内容は、実施にあたっての東京八王子ロータリークラブの関わり方が書かれていますが、結びの方に「大きな夢と小さな一歩」と題し、世界の急速な変化

に対応すべく、変化の礎となる子どもたちの教育についてロータリークラブは現実を見つめ、時代に即した教育支援を担えるようになりたいと締めくくってあります。私の感想としては、大変素晴らしい事業を開催されており意義あるものと感じていますが、子どもたちがどういうところに自ら楽しんで参加しているか、コンテストに向けての苦悩から喜びに変わる部分などのコメントや状況の記事も記載してほしかったと感じました。

12ページからは各地のガバナーからの寄稿文になっており、15ページには我々がガバナーの三村氏も掲載されています。再来年の7月からは、当クラブの延岡ガバナーノミニの記事も掲載されると考えると、誇らしく感じた次第です。

18・19ページには、RI日本事務局について記載がありますが、入会して1年目の私にとっては、やはりこういうお世話をして下さる機関が存在するのだなあと有難く感じたところです。アメリカのRI本部の他に世界6都市に事務局があるとなっていますが、世界200以上の国と地域にロータリークラブがある中で6か所しかないことに驚きました。事務局がない国では、アメリカの本部と地区が直接やり取りしなければならないのかなど、疑問も出てきましたが、日本国内にこのようなサポート機関があることは活動を円滑に進めるために重要なことと思います。日本事務局には、大きく分けて四つのチームがあり、クラブ・地区支援室は、定款・細則に関するサポート、研修支援、クラブや地区の運営業務を担当。財団室は、寄付推進と認証、ポリオ根絶活動、ロータリー平和センター、補助金に関する業務。経理室は、正に経理業務。業務推進室は、認証品の発送や電子資料の案内業務窓口。ということです。当クラブでも、事務局の緒方さんには大変お世話になって運営サポートをしていただいていることに改めて感謝申し上げます。

24・25ページには、大牟田RCの創立70周年記念事業で「宝の海プロジェクト」としての海洋教育について掲載されています。市内小学校3校が海洋教育推進モデル校に指定されており、有明海や世界遺産の構成文化財の三池港などでの体験学習を通じて、子どもたちに「世界は海でつながっている」と実感してもらおうこと。そして、地球上で起こる地域課題を、自分自身の問題として考えられる子どもの育成を目的とし事業を実施されています。25ページの2段目に「ワタリガニの放流体験、諏訪川でのカヌー体験、清掃を兼ねた三池海岸での海洋ごみと環境の実態調査、三池湾内クルーズ手配、その他さまざまな準備で大変でしたが、目を輝かせて自然と触れ合い、学びを深めていく子どもたちの姿に、それまでの苦労も吹き飛ばす思いでした」とあります。また、台湾との実践交流会ではICTを活用し海洋教育の取り組みもされています。結果、記念事業の枠を超えて台湾の小学校と佐賀県の玄海町の小学校、唐津市の高校、鹿児島県奄美市の小学校との繋がりが出来、子どもたちを含めた台日交流が深まったとあります。本当に素晴らしい取り組みが、交流の一步を産み出したのだなあと感じました。

次に縦書きの4ページから川上憲人氏による「企業・組織におけるメンタルヘルスはなぜ大事か」と

いう題で掲載されており、3段落目に「2023年のG7労働雇用大臣会合の大臣宣言でも ワーク・エンゲージメント（従業員が仕事に対してポジティブで充実した心理状態にあること）の向上とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の推進 が入り、職場でのメンタルヘルス施策の充実、健康とウェルビーイングの促進が盛り込まれており、これらは世界に注目されている事柄といえる」とあります。精神疾患は理解されにくく、非常につらい病気とされ、日本人の3%が精神科で治療中だそうです。一方で受診率が低く、多くの人は家でよくなるのを待っているという状態が続いています。社会的・経済的損失も計算されており、2008年の推計（少し古いデータですが）精神疾患の年間医療費は約4.3兆円に対し、働けなくなったために失われている労働力の損失は6.6兆円と、それを上回る数字で、企業でも大きな課題とされています。精神疾患で引きこもっている人に一番必要なものは、家族にサポートしてもらう、友人に声をかけてもらうなどの、人とのつながりで、メンタルヘルスの専門家でなくとも助ける事が出来るとあります。5ページの後半から企業の生産性向上にはメンタルヘルス対策をということで、仕事とメンタルヘルスには強い関係があり、働くことは労働者の精神健康を増進します。一方で仕事が過重であったり、人間関係がうまくいかなかったりなど、条件が悪くなってくると、急にメンタルヘルスは悪化します。メンタルヘルスがいい方にも悪い方にも作用する「職場」はとても大事な場所です。とこの後にも職場と精神健康について記述されていますが、各々読んでいただければと思いますが、管理職を司る私たちは、昔のような上から指示をするパワハラまがいなやり方はNGで、相手を気づかい横並びの立場になって共に働く環境を作らなければならないのだなあと自分自身反省した次第です。人手不足でもございますので、元気に働いてもらい離職させない企業を目指し、頑張りたいものです。

他にも様々にご紹介するところがあったかと存じますが、以上とさせていただきます。ありがとうございました。

【次年度】

2025～2026年度

地区研修・協議会報告（後半）

日時;2025年4月6日(日)

場所;熊本城ホール

会員増強拡大部会

次年度会員増強委員長
大山善生

こちらの部会では、増強拡大の必要性を学びそれに取り組む研修でした。まずは、地区の現状として今年度スタート時点で2720地区のメンバー数は2,359名が所属されています。地区のヴィジョン実現ロードマップには2025-2026年の間に+150名の2,500名に増加させたいと目標を掲げられています。また、地区内のメンバー平均年齢は68歳だそうです。先輩諸兄がいらっしゃる中に大変恐縮ですが、10年後、20年後を考えたときに常にメンバーを増やしていく策を考えないと、クラブの存続が危ぶまれます。ただし、これはクラブを存続することが目的ではなく、クラブが存在しそこ

に会員が多く所属していることで、世界のポリオ根絶を含めた疫病や貧困を減らす活動がなされること。これこそが重要な目的となります。国境を超えて、政治や言語を超えて世界中で共通の想いを持った経営者の集まりがロータリーの素晴らしいところであります。

この様なことから、クラブ内に危機意識を持ってもらい、クラブの未来予想図を画いてほしいとございました。四つのテストを参考にしながら計画していくといいのではないかとのことです。

では、会員をいかにして増強していくかですが、入会するメリットを示していくことが重要となります。例えば、各々のクラブには様々な業種の方がいらっしゃいますが、専門性の高い方へ困りごとの相談など気軽にできることは、大きなメリットになります。こういった意味では、職業分類の空きを埋めていくことも重要とのことです。また、会員の職業分類やジャンルを各々が把握することも必要とのことでした。そして、候補者リストを作成し近しいメンバーに声かけ、お誘いをしていく。その際に、なぜあなたが必要かを述べて誘ってくださいとのことでした。また、是非共有していただきたいのは、会員増強の担当のみが動くのではなく、クラブ全体で取り組んでください。計画するのは、委員会で行い、実行するのは全体でということでした。

今後、事業計画を作成し皆様にご協力を仰ぎながら進めてまいりたいと思いますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

国際奉仕部会

次年度国際奉仕委員長
浅野 強

皆さんこんにちは。国際奉仕委員長を務めさせていただくのは今回で3回目となります。英語が話せるわけでもないのに、どうして毎回この役を引き受けているのか、自分でも不思議に思うところです。最初に担当したのは中川年度、もう15年ほど前になります。その頃にこうした研修があったのかどうか、正直あまり覚えていません。当時は参加した記憶もあまり残っていないのが正直なところです。2回目は北年度（前年度）で、日田で行われた研修に参加しました。内容よりも、ベニヤ椅子に座って1時間半という、なかなかハードな体験だったことが一番印象に残っています。

そして今回は大分市内での開催。移動はバスで片道4時間半（途中休憩含む）と、なかなかの長距離でした。以前、別府に単身赴任していた時期があり、よく通っていた道ではありますが、あらためて距離の長さを実感しました。正直、年齢のせいか帰ってからどっと疲れが出てしまい、10日ほど体調を崩してしまいました。ついでにゴルフの予定も2回キャンセルすることになり、ちょっと悔しい思いもしました。

さて、今回の研修は、昨年度（北年度）とほぼ同じ内容でした。主に「海外クラブとの姉妹提携を進める際の注意点」を話され、提携を進める際には、しっかりと事前のすり合わせを行い、相互理解を深めた上で進めることが大切で、準備不足のまま進めてしまうと、「思っていた内容と違った」「予想外の費用がかさんでしまった」といった問題に繋がる可能性があるとのことでした。そのため、まだ姉妹提携を結んでい

ないクラブにおかれましては、提携の話が出た時点で、まず地区本部に連絡を入れてください。本部には手続きのための雛形が用意されていますので、それに沿って進めていくことで、後々のトラブルを回避できます。とのことでした。

ちなみに、現在地区内には73クラブありますが、そのうち38クラブが海外との姉妹提携を行っているとのことでした。まだ約半数のクラブが未提携ということで、今後の推進にも力を入れていくとのことでした。

また、国際奉仕部門の方針計画についても説明がありましたが、内容が非常に長いので、ここでは割愛させていただきます。詳しく知りたい方は、地区大会の冊子をご覧くださいければと思います。

さらに、次年度の国際大会が台湾で開催されます。比較的距離も近いので、国際大会の雰囲気を経験する良い機会になります。私の年度での開催となりますので、できるだけ多くの方に参加していただけるよう、希望を募りながら、進めていきたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

以上、研修報告でした。

職業奉仕部会 委員長代理 岩下幸司

今回は急遽、代理で研修に参加することになりましたので、簡単に内容を報告させていただきます。

研修の冒頭では、ロータリーの創成期において意見の対立があり、その場を円滑に進めるために設けられた役割が「SAA」の始まりだというお話がありました。また、「四つのテスト」がロータリー活動において非常に重要な指針である、という説明もありました。後半では、各クラブの活動紹介が行われました。しかし、近くに座っていた方が数分おきに呼吸が止まるような様子で、気になってしまい、そのあたりから内容に集中できなくなっていました。大変申し訳ありません。 以上です。

青少年奉仕部会 次年度ロータリーアクト委員長 田口善浩

次年度アクト委員長として、今回の地区研修・協議会へ参加して参りました。大分へは久しぶりに行きましたが遠かったですね。大山君が運転してくれたので良かったです。

部門別協議会では、初めに、青少年奉仕部門の次年度の活動方針の説明がありました。インターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）、ロータリー青少年交換などを通じて、青少年や若い世代のリーダーシップ能力を伸ばせるように支援する。全ての活動を次世代の育成につなげる。

『活動計画』

- ・子供屋台の開催（2026年5月23日）
- ・全国RYLA研修会の開催（2026年4月予定）
- ・各委員会、地区学友委員会との連携強化及び他部門との連携強化
- ・危機管理の周知徹底
- ・各クラブの青少年に関わる活動事例を紹介する（クラブの活性化）とのことでした。

次に、各委員会の活動目標説明がありました。（内

容は駆け足での説明だったため、あまり覚えていません）最後に、ロータリーアクト地区代表の上野さんの卓話と、危機管理の話で締めくくられていました。

青少年や留学生との交流において危機管理を知っていなければ、クラブの存続にもかかわる事態になる恐れがあります。定期的に勉強会や講習会をする必要性を感じました。

久しぶりの大分の夜も楽しかったです。メの鴨そばもおいしかった。

R財団部会

次年度R財団委員長 増田隆二

熊本東南ロータリークラブの弥富照皇ロータリー財団部門長よりご挨拶があり、次年度の財団部門における活動方針が発表されました。

主な目標として、以下の内容が示されました。

- ① 年次寄付金：一人あたり150ドル以上
- ② ポリオプラス：一人あたり30ドル以上
- ③ 恒久基金：2名以上の寄付者
- ④ 大口寄付：1万ドル以上の寄付

なお、現時点での一人あたりの寄付額は126ドルになっており、さらなる上乗せを依頼されました。以上です。



【寄付カード】

〈ニコニコ箱〉

- ・**岩井会長** 地区大会は大変お世話になりました。また、3年ぶりにゴルフ優勝させて頂きました。
 - ・**堤会員** 昨日人吉新聞に米国輸出の話題が載りました。石蔵会員に感謝します。
 - ・**塚本会員** 4月5、6日の大分での地区研修・協議会に参加された会員の皆様、出席頂きありがとうございました。改めて御礼申し上げます。今日発表して頂きました浅野会員、大山会員、田口会員、増田会員に感謝申し上げます。
 - ・**北会員** 堤会長、アメリカ進出おめでとうございます。「MUJEN（ムジェン）」の世界征服お祈り申し上げます。
- 〈R財団〉
- ・**葉山会員** 中川先輩のご協力に感謝します。

〈人吉RC奨学基金〉

- ・**葉山会員** 先日（4/25・5/1）人吉高校と球磨工業高校の奨学生に認証楯と第一回の奨学金を奨学基金委員会メンバーが出席し、手渡すことが出来ました。今年度の委員会事業を全て完了しました。

点 鐘 岩井和彦 会長

